# 作られた「物語」を超えて (2)

山極 寿一

8 ①ゴリラのドラミングに対する誤解が広まったのは、人間がある印象を基に「物語」を作り、それを仲間に伝えたがる性質をもっているからだ。いつの頃からか人間は言葉を発明して、自分が体験したことを語ることができるようになった。そのおかげで、②人間は多くの知識を共有できるようになった。自分が体験していない地震や火事の出来事を人から聞くことによって、適切な対処の方法を知ることができる。まだ見たことのない動物と出会ったらどうすればいいか、それを知っている人から学ぶことができる。言葉は人間の社会に知識を蓄積し、新しい技術や工夫をもたらして、人間が飛躍的に発展する道を開いた。しかし一方で、言葉には自分の体験を脚色したり誇張したりする力もある。実際には見ていないことを、あたかも体験したかのように語ることもできるのだ。③それは人の口から口へ、またたくうちに広がっていく。最初の話が誤解によって作られていると、その間違いに気がつかないうちに、それが社会の常識になってしまうことがよくあるのだ。

(中略)

10 アフリカの森で暮らすゴリラの調査を通じて、私は人間の、自然や動物、そして人間自身を見る目がいかに誤解に満ちているかを知ることができた。その誤解を解くためには、相手の立場に立って、一つ一つの行動にどんな意味があるかを考えることが必要である。人から伝え聞いた「物語」と実際に自分が向かい合っている現象とを照らし合わせ、これまでの常識を疑ってみる態度も必要となる。「物語」によって作られた常識の陰に、しいたげられている生き物や人間がいないか、意味を取り違えて排除していることがないか、思いを巡らすことが大切だと思う。

（8・10は教科書本文における形式段落番号を表します）

**確認テスト** 本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ――線①「ゴリラのドラミングに対する誤解」の事例からわかる人間の性質を、本文中から二十八字で探し、最初と最後の三字を答えなさい。ただし、句読点や記号も字数に含む。

□□□～□□□

(2) ――線②「多くの知識を共有できる」とあるが、この具体的な例となっているひと続きの二文を本文中から探し、最初の十字を答えなさい。

□□□□□□□□□□

(3) ――線③「それ」が指す内容を選びなさい。

**ア** 言葉によって人間の社会にもたらされ、社会を発展させた新しい技術や工夫。

**イ** 実際には見てもいないのに、あたかも自身で体験したかのように語られた話。

**ウ** 誤解が人の口から口へと、またたくうちに広がり、社会の常識になること。

〔　〕

(4) [8]段落では、人間の社会に誤解が広まる要因となっている言葉の性質について述べられている。次の文の（　）に入る言葉を本文中から十九字で探し、最初と最後の三字を答えなさい。

・言葉には（　）があり、見ていないことでも体験したかのように語ることができる。

□□□～□□□

(5) [10]段落の内容に合うものを選びなさい。

**ア** 自分の立場でものごとの意味を一つ一つきちんと考え、自らも「物語」を語り継いでいくことが大切である。

**イ** さまざまな人から聞いた複数の「物語」を照らし合わせて、正しい「物語」を見つけることが大切である。

**ウ** 「物語」に基づく常識の陰にしいたげられている存在がいないか、思いを巡らすことが大切である。

〔　〕